

2025 年 7 月 15 日

**キッチンカー情報を活用した実証実験を福岡市の天神・博多エリアで開始
— データ連携基盤を活用したユニバーサルなまちづくりに貢献 —**

大日本印刷株式会社 (DNP) は、福岡地域戦略推進協議会 (FDC)、公益財団法人九州先端科学技術研究所、株式会社 Mellow と共働して、「福岡市データ連携基盤」*1 を活用した実証実験を 2025 年 7 月 15 日に開始します。この基盤で取得するキッチンカーの情報 (位置・料理カテゴリー・営業時間等) と、DNP が提供する SNS 連動型デジタルマップ「DNP MAP ベース地域振興情報発信プラットフォーム『Place2B (プレイストゥビー)』」*2 を連動させて、キッチンカーの最新情報をスマートフォンやパソコンの地図上で確認できるようにします。この実証実験を通じて、観光客や地域住民をはじめ、誰もが利用しやすい“ユニバーサルなまちづくり”の実現を支援します。



キッチンカーの情報と連動した「Place2B」のイメージ

【本実証実験の背景と狙い】

福岡市は日本からアジアに向けた玄関口であり、ビジネスや観光の拠点として成長しています。その一方で、市の中心エリアである天神地区周辺は古い建物も多く、耐震性や設備面での課題を抱えており、今の時代に合った都市機能の整備が求められていました。そこで福岡市は、民間による建て替えを後押しする特例措置を導入し、「天神ビッグバン」と名付けた再開発を推進していますが、天神エリアでは飲食店の減少による混雑から「ランチ難民」とよばれる状況が発生していました。こうした課題の解決に向けて 4 者は今回、「福岡市データ連携基盤」を活用して、情報端末のディスプレイ上でキッチンカーを可視化し、生活者がランチタイムに飲食店を見つけやすくするなど、利便性の向上を図っていきます。

【本実証実験の概要】

福岡市は令和 4 年度に、分野横断的な官民データの連携を可能とする目的で、社会全体のデジタル化の基盤として「福岡市データ連携基盤」を構築しました。この基盤は、内閣府が公開したスマートシティリファレンスアーキテクチャ*³ に準拠しており、欧州の官民連携プロジェクトで開発・実証された基盤ソフトウェア「FIWARE (ファイウェア)」を採用しています。

今回の実証実験でDNPは、「DNP MAP ベース地域振興情報発信プラットフォーム『Place2B』」と、スマートシティリファレンスアーキテクチャに準拠したデータ連携基盤との API 連携について検証します。

○本実証実験について

- ・名称 : 福岡市データ連携基盤利活用による民間データ・ソリューション連携およびビジネスモデル拡大可能性実証実験
- ・期間 : 2025 年 7 月 15 日～2025 年 8 月 29 日 (場合によっては延長あり)
- ・対象者 : 福岡地域戦略推進協議会 (FDC) の会員
- ・対象エリア : 福岡市の天神・博多地区を中心とした都心エリア
- ・DNP の役割 : 「DNP MAP ベース地域振興情報発信プラットフォーム『Place2B』」の提供
- ・関連ページ URL : <https://fukuoka-dc.place-2-b.jp/web/tourist-map>

【今後の展開】

九州先端科学技術研究所がオープンデータとして提供する人流データを活用し、キッチンカーの販売データや客層分析に基づいて、キッチンカーの出店場所の開拓やメニュー改善につなげていきます。

*1 福岡市データ連携基盤について →

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/data/shisei/fukuokacitydataconnectionsystem.html>

*2 「DNP MAP ベース地域振興情報発信プラットフォーム『Place2B』」について →

https://www.dnp.co.jp/biz/products/detail/20172663_4986.html

*3 スマートシティリファレンスアーキテクチャについて →

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20230810smartcity.html>

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※記載内容は発表日現在のものです。今後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 野田 TEL: 080-2242-9220 E-Mail: Noda-M4@mail.dnp.co.jp